



鈴鹿市立明生小学校

明生の旗高く

＜ 学校教育目標 ＞

地域とともに

明るく元気に生きる

明生の子

■ 食育 1年



6月12日に給食センターの栄養教諭が1年生対象に食育の授業を実施しました。本校は自校給食ではなく、センターで調理された給食が届けられるので調理されている様子を身近に感じることができません。センターでは4幼稚園・12小学校の4500人分の給食を作っていること、そのために32人の職員が働いていることなどを教えていただきました。調理道具として大きなしゃもじや柄杓の実物とそれを使っている様子などを動画で見ました。安全で美味しい給食を作るためには大変な苦労があることを知りました。それらのことを知ることで毎日の給食に対する感謝の気持ちが育ってほしいと思います。

■ 家庭科で裁縫実習のボランティア 5年



5年生になると始まる学習として家庭科があります。家庭科は座学だけでなく調理・裁縫といった実習があります。それらの実習は危険が伴いますし、一人ひとりへのサポートが大切になります。担当の教員だけでは十分な支援ができないことも多く、ボランティアの方にお世話になっています。この日は

「玉止め・玉結び」や「なみ縫い」の実習でした。ボランティアの方がいてくださったことで子ども5、6名に一人大人がつくことができたので効果的に学習することができました。これからも多くの方に支えていただきながら子どもたちの学習が深められればと思います。



■ 自然教室 5年生

6月19、20日に1泊2日でスズカト(県立鈴鹿青少年センター)で5年生が自然教室を実施しました。計画の段階では6月の中旬ということで学校から現地まで歩くことでの熱中症も心配しましたが、当日は前日の大雨も一転、さわやかな天候の中を歩いていくことができました。

入所式で活動を始め、レクリエーションも空調の効いた体育館でしっかりと楽しむことができました。昼食をいただくころには外気温が上昇し午後の屋外でのウォークラリーは危険と判断し、午前に引き続き体育館でのレクリエーションに変更しました。15時からは野外炊飯でかまどで火をおこし、カレー作りに挑戦しました。心地よい風が吹いていて火の準備も材料の

ちょうり き も さぎょう はん やくわりぶんたん すす
調理も気持ちよく作業できました。どの班も役割分担がしっかりできていてスムーズに進められていました。火おこしは初めての経験だった子どもも多く、応援に駆け付けた先生方の応援も受けていました。おいしくカレーをいただいたあとは、片付けもきれいにでき、スズカトのスタッフからも褒めていただきました。

しょくじ 1 8 じ たいいくかん でキャンドルファイヤーでした。火の神からいただいた火を営火長から班長、そして全員に分火し誓いの言葉を言いました。ダンスにクイズにと実行委員さんが大活躍して盛り上げてくれました。

にゅうよく はんちょうかいぎ とまだまだ活動は続きました。夜のつどいまでの間に各自の振り返りもしっかり書いていました。

しょうとうご ね っ こ あさ しず やす
消灯後はなかなか寝付けない子もいたようですが、朝まで静かに休むことができました。よくちょう あさ ちょうしょく にもつ せいり せいそう よていどお かつどう すす
翌朝も朝のつどい、朝食、荷物の整理、清掃と予定通りに活動を進め、9時からは勾玉作りに挑戦しました。2時間の予定でしたが、1時間少しで終える子もいました。

ちようせん じかん よてい じかんすこ お こ
退所式のあと昼食をいただいてから帰路につきました。この日は薄曇りで疲れた体で歩くには最適の天候だったのではないのでしょうか。

かいそう ぶたい ぜんいんさんか す ふつかかん こ
改装してとてもきれいで快適なスズカトを舞台に全員参加で過ごせた2日間でした。子どもたちは学年のめあて「自分から」を意識し行動できていたので、どの活動にも遅れることなく集合し、メリハリをつけて参加できている姿がとても印象に残りました。

